

給与所得者異動届出書の記入のしかた

異動後の未徴収税額の徴収方法

●特別徴収継続の場合

①の欄を転勤前の給与支払者、⑧の欄を転勤先の給与支払者が記入してください。
※給与所得者の個人番号については、転勤先の給与支払者が記入してください。

●一括徴収の場合

①③の欄すべての事項を記入してください。

●普通徴収の場合

①④の欄すべての事項を記入してください。

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書（年度分）

①異動があった場合は、速やかに提出してください。

		年度		1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度	
給与支払者 給与支払者の所在地等 ※指定番号と宛名番号 は税額通知書に記載しています。	朝霞市長 宛	給与支払者 〔特別徴収者〕	所在地 〒	特別徴収義務者 指定番号			
			フリガナ	宛名番号			
	年 月 日提出		氏名又は名称	担連 当絡 者先	所属 氏名		
			個人番号 又は法人番号		電話	内線()	
給与所得者 (ア) 特別徴収税額 通知書に記載された 特別徴収税額(年税額) (イ) 徴収済額 徴収した月分と月割額 の合計額 (ウ) 未徴収税額 徴収していない月分と 特別徴収税額から徴収 済額を差し引いた残額	フリガナ	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異動 年月日	異動の事由	
	氏名						異動後の未徴収 税額の徴収方法
	生年月日 年 月 日						
	個人番号						
	受給者番号						
1月1日 現在の住所	円	円	円	年 月 日	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)		
異動後の住所	円	円	円	年 月 日	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)		

◆異動年月日
退職日など異動があつた日

◆異動の事由
特別徴収できなくなった事由の番号を記入してください。

◆異動後の未徴収税額の徴収方法
該当する徴収方法の番号を記入してください。

②転勤(転職)等による特別徴収届出書

1. 特別徴収継続の場合		新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済みです。	
特別徴収義務者 指定番号	(新規) 法人番号	受給者番号	電子通知での受け取りを希望する場合は必須になります。
所在地 〒	担当者 連絡先	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	1. 必要 2. 不要
フリガナ	所属 氏名		
氏名又は名称	電話	内線()	

◆特別徴収の開始月
新しい勤務先で徴収する月割額と開始月を記入してください。

◆受給者番号
特別徴収税額通知
(納税義務者用)を
電子データで受け取り
希望の場合は必ず記入
してください。

③給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

2. 一括徴収の場合		左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で納入します。	
理由	1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出があつたため 2. 異動が 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)
		月 日	円

④未徴収税額を普通徴収で納める場合は、次の欄に該当する番号を記載してください。

3. 普通徴収の場合		※市町村記入欄			
理由	1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	入力日	/	済月	
		事由		開始	
		控え	/	返送	

◆異動後の未徴収税額の徴収方法
一括徴収の場合は徴収した税額を何月分で納入するか記入してください。

【提出先】 〒351-8501 朝霞市本町1丁目1番1号 朝霞市役所 総務部 課税課 市民税係